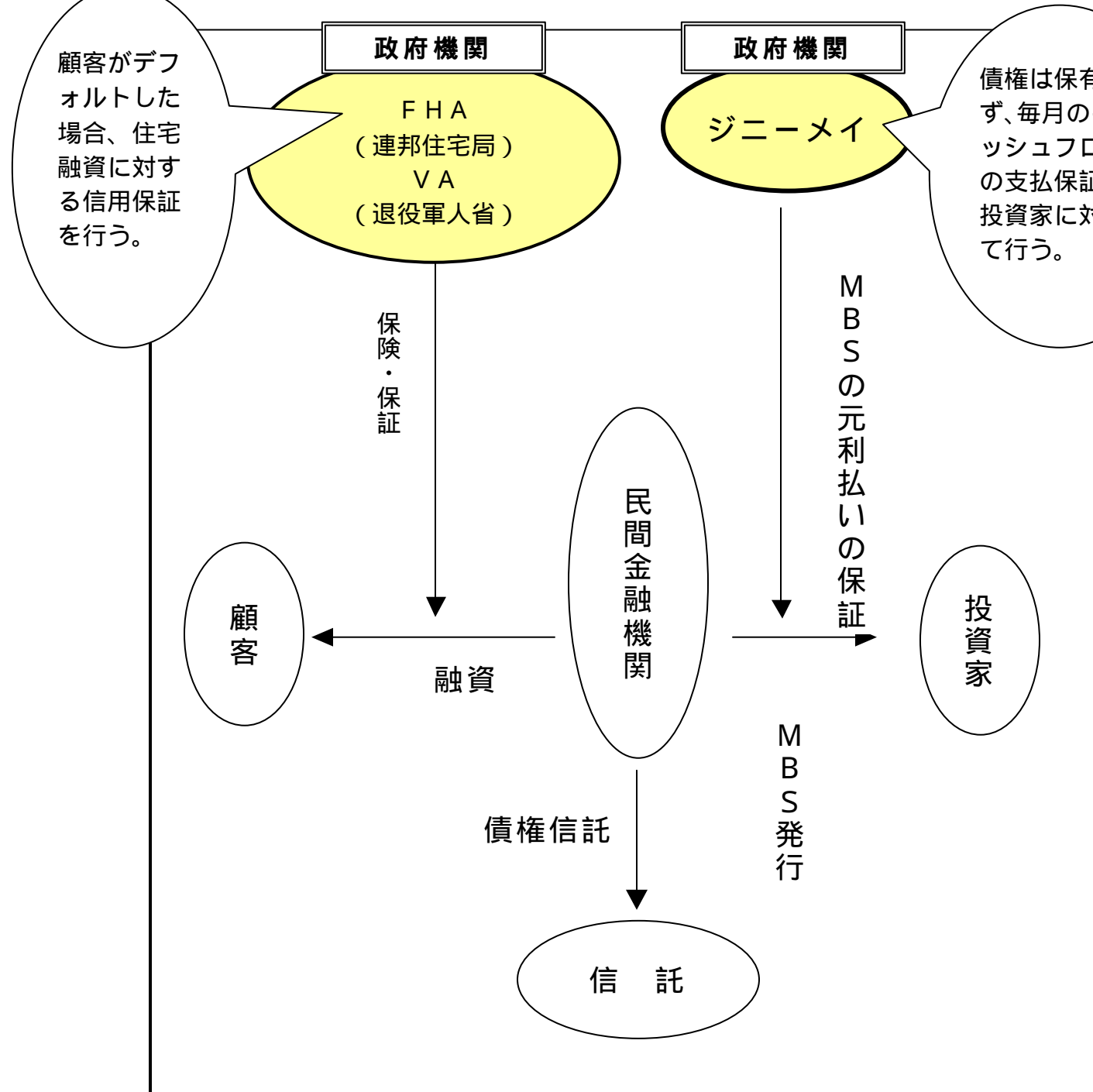


米国における証券化の仕組み

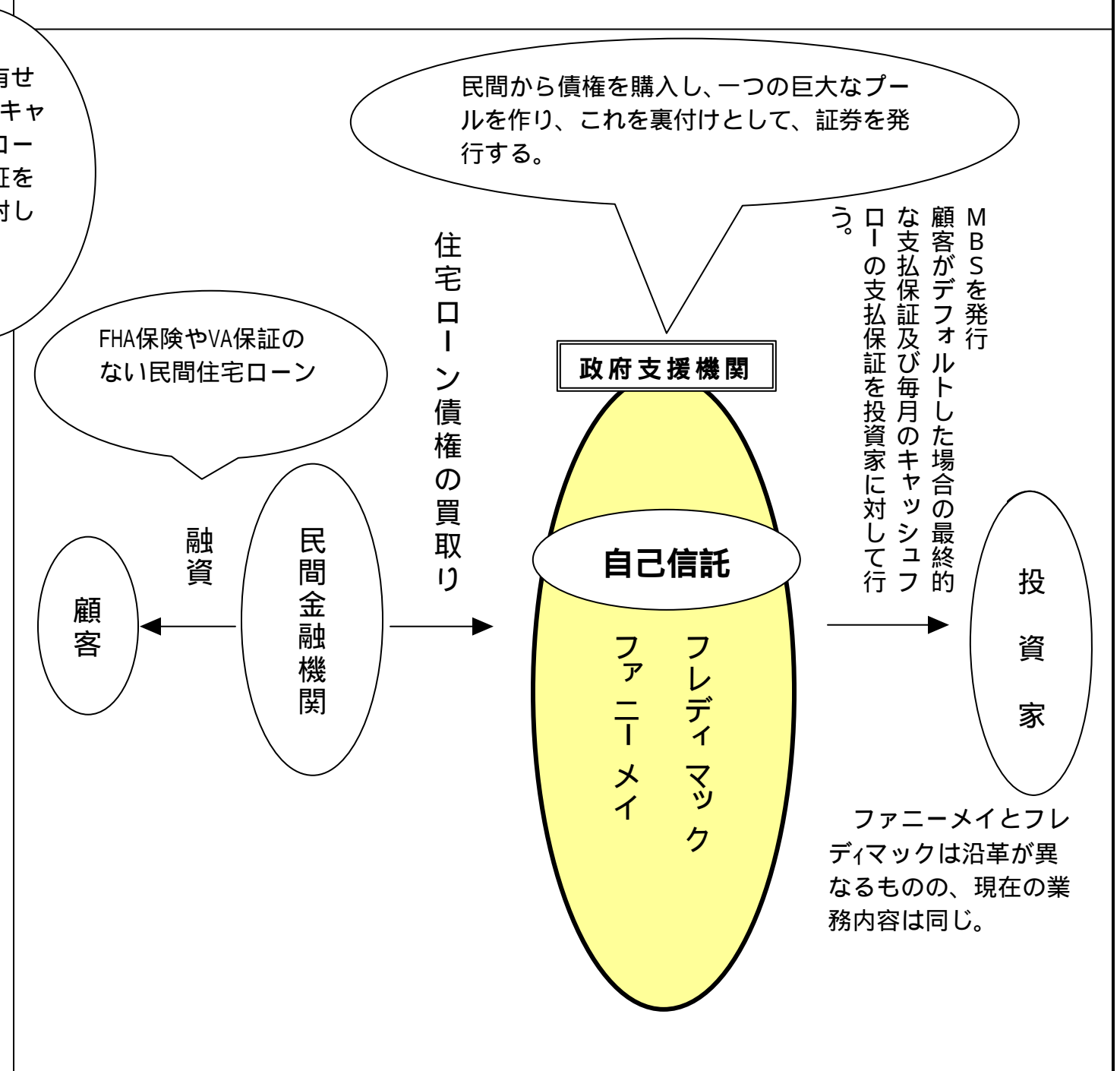
住宅ローンの証券化が進んでいる米国においては、ジニーメイ等の政府機関、ファニーメイやフレディマックの政府支援機関による証券化のための支援を実施。

これにより、政策性の強いFHA保険、VA保証付の住宅ローンを含めて証券化が円滑に行われるとともに、そのコストの縮減に寄与している。

1 ジニーメイの証券化



2 ファニーメイ及びフレディマックの証券化



ジニーメイ (Government National Mortgage Association, GNMA: 政府抵当金庫): 1968年創設 MBS保証額 1,528億ドル 職員数 2,460名 (FHAを含む)
 ファニーメイ (Federal National Mortgage Association, FNMA: 連邦抵当金庫): 1938年創設 MBS発行額 3,007億ドル 職員数 3,800名 主にモーゲージバンクの債権を対象
 フレディマック (Federal Home Loan Mortgage Corporation, FHLMC: 連邦住宅貸付公社): 1970年創設 MBS発行額 2,330億ドル 職員数 3,500名 主にS&Lの債権を対象
 政府支援機関: 役員の一部が大統領によって任命。政府の信用枠を一定限度利用できる。